

令和2年度

事業報告書

- I. 事業概要 (1 ページ)
- II. 役員会等 (2~3 ページ)
- III. 役員・職員構成 (4 ページ)
- IV. 主な事業 (5~8 ページ)
- V. 健診事業 (9 ページ)

一般財団法人 宮城県予防医学協会

令和2年度 事業報告

I. 事業概要

<総括>

今年度、当協会は「本部・事務局」を泉区高森地区に移転し2年目の事業展開となった。

折しも世界各国で新型コロナウイルス感染症がまん延し、我が国でも緊急事態宣言が発出されるなど、業界的にも厳しい状況下での取り組みとなったが、特に受診者の「安全」を最優先とし健診に取り組んだ。各種健診が中止、縮小、延期となるなど事業収入は前年度実績を下回る結果となったが、職場環境の充実を図るためエレベーター設置工事及び駐車場の整備を行った。

健診事業においては、本年も被災された方々の健康管理を最優先とし土曜、休日、夜間健診にも積極的に取り組んだ。また、「特定健診・特定保健指導」は「高齢者医療確保法」の第3期計画の3年目となるが引き続き関係機関・医療保険者との連携を強化し受診勧奨に取り組み受診数の向上に努めたがコロナ禍での取り組みのため「特定健診」では受診数が大きく減少した。

また、内部管理体制においては、既に施行されている働き方改革にも準拠出来るよう新たな人事制度の再構築を図った。加えて「職場・職員の質の向上」・「人材育成」についての各種研修会等では人数を制限しオンラインを活用しての参加となった。

収益事業

- 1) 学校健診： 少子化やコロナ禍の影響により受診数が減少した。
- 2) 住民健診： 特定健診において受診対象者の減少、更にコロナ禍の影響により受診数が大幅に減少した。
- 3) 職域健診： 積極的な渉外活動による新規事業所の獲得、オプション検査の推奨により増収となった。
- 4) 施設健診： 新型コロナウイルス感染防止のため受診数を制限して受け入れたため受診数が減少した。

公益事業

県内全域を対象に健康に関する知識の普及と啓発活動を推進した。保健指導事業をはじめ、普及広報事業として機関誌の発行、各種健康教育冊子等を市町村・学校・事業所等へ頒布し、また医学研究助成事業を展開し県民各層の「健康保持・増進」に寄与すべく積極的な取り組みを行った。

【重点事項】

1. 特定健診においてコロナ禍の影響により、受診数は減少したが、職域健診の特定保健指導では協会健保集合健診で初回面接に積極的に取り組み受診者の増を図った。
2. 積極的な渉外活動を通し、新規事業所の獲得、オプション項目の受診勧奨などに取り組み増収を図った。
3. 各種研修会はコロナ禍の影響により、オンラインでの参加となった。
4. 大規模健診システムについては2022年1月からの稼働を確実にした。

II. 役員会等

1. 会議開催

○理事会

令和2年6月5日（金） 定款第34条による決議

〈報告事項〉 (1) 評議員の退任の件

〈決議事項〉 第1号議案 令和元年度事業報告書の承認の件

第2号議案 令和元年度決算書類及び公益目的支出計画実施報告書の承認並びに監査報告の件

第3号議案 評議員会の決議の省略の件

第4号議案 評議員候補者の評議員会への上程の件

第5号議案 役員等の報酬規程の改定の件

第6号議案 功労金の支給の件

以上、原案どおり承認された。

令和2年7月16日（木） 定款第34条による決議

〈決議事項〉 第1号議案 評議員会の決議の省略の件

第2号議案 評議員候補者の評議員会への上程の件

以上、原案どおり承認された。

令和3年2月1日（月） 定款第34条による決議

〈決議事項〉 第1号議案 代表理事選定の件

以上、原案どおり承認された。

令和3年3月5日（金） 定款第34条による決議

〈決議事項〉 第1号議案 令和3年度事業計画書（案）の承認の件

第2号議案 令和3年度収支予算書（案）の承認の件

第3号議案 評議員会の決議の省略の件

第4号議案 功労金の支給の件

以上、原案どおり承認された。

○評議員会

令和2年6月23日（火） 一般法人法第194条・195条による決議

〈報告事項〉 (1) 令和元年度事業報告書の件

(2) 公益目的支出計画実施報告書の件

(3) 評議員の退任の件

〈決議事項〉 第1号議案 令和元年度決算書類の承認及び監査報告の件

第2号議案 評議員の選任の件

第3号議案 役員等の報酬規程の改定の件

第4号議案 功労金の支給の件

以上、原案どおり承認された。

令和2年8月1日（土）一般法人法第194条による決議

〈決議事項〉 第1号議案 評議員の選任の件

以上、原案どおり承認された。

令和3年3月22日（月）一般法人法第194条・195条による決議

〈報告事項〉 （1）令和3年度事業計画書の件

（2）令和3年度収支予算書の件

〈決議事項〉 第1号議案 功労金の支給の件

以上、原案どおり承認された。

2. 監事監査

令和元年度業務会計監査

令和2年 5月22日（金）

当協会応接室

監事：佐川 剛、門脇 功

令和2年度業務会計監査（中間監査）

令和2年11月24日（火）

当協会応接室

監事：佐川 剛、門脇 功

Ⅲ. 役員・職員構成

1. 役員構成

区分	定数枠	任期	R3.3.31現在	R2.4.1現在	備考
顧問	—	—	1	1	
理事	8～15	2年	13	14	
監事	2以内	2年	2	2	
評議員	7～12	4年	8	7	

2. 役員の変動

	新任	退任
理事		角田 行 (令和3年1月2日)
評議員	藤倉 浩昭 (令和2年6月23日)	梅澤 修一 (令和2年3月31日)
	千葉 智則 (令和2年6月23日)	石垣 茂光 (令和2年6月23日)
	伊藤 浩己 (令和2年8月1日)	村井 明夫 (令和2年6月30日)

3. 職員構成

(1) 職員数

所属	人員
事務局	113
健診センター	34
令和3年3月31日現在 計	147
令和2年4月1日現在 計	149

(2) 医療職有資格者数

資格名	人 員	
	令和3年3月31日現在	令和2年4月1日現在
医師	9	9
保健師	8	7
看護師	19	19
准看護師	3	3
臨床検査技師	30	30
診療放射線技師	5	6
合計	74 (50.3%)	74 (49.7%)
在職者	147	149

IV.主 な 事 業

1. 保健指導事業（継続事業1）

（1）事後指導

区 分	団体数	日 数	参加数	医師	保健師	看護師	栄養士	運動 指導士	超音波 検査士	その他	計
学校健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住民健診	11	77	4,244	0	18	13	112	0	0	173	316
職域健診指導	8	27	292	2	21	1	30	2	0	5	61
農協健康指導 （農協共済）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度計	19	104	4,536	2	39	14	142	2	0	178	377
令和元年度計	24	143	6,978	8	67	38	192	0	6	162	473

（2）特定保健指導

区 分	団体数	日 数	参加数	医師	保健師	看護師	栄養士	運動 指導士	超音波 検査士	その他	計
令和2年度計	19	181	1,283	0	190	0	232	0	0	0	422
令和元年度計	21	208	1,495	0	187	0	353	5	0	0	545

令和2年度 9市町村（石巻市、角田市、塩竈市、七ヶ宿町、白石市、登米市、東松島市、南三陸町、山元町）、8事業所、協会けんぽ、公立学校共済組合

（3）講師派遣

内 容	回 数	参加者	主催者（講演依頼先）				講 師 派遣数
			市町村	学 校	農 協	事業所・ 医師会	
生活習慣病予防関係	21	525	0	0	0	3	33
高齢化対策関係	10	420	0	0	0	1	10
学校保健関係	1	40	0	0	0	1	1
令和2年度計	32	985	0	0	0	5	44
令和元年度計	13	920	1	0	0	7	13

2. 医学研究助成事業（継続事業2）

（1）予防医学に関する専門的研究機関の助成金

調 査 ・ 研 究 テ ー マ	助 成 先	金 額
健康的な生活習慣の組み合わせによる健康寿命の算出	東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野 (辻 一郎)	20 万円
病院内環境微生物によるカテーテル関連菌血症の予防に関する研究	東北大学大学院医学系研究科 総合感染症学分野 (青柳 哲史)	20 万円
予防医学における「患者さんの気持ち」を定量診断するシステム	東北大学加齢医学研究所 心臓病電子医学分野 (山家 智之)	20 万円
予後良好の大腸がんを同定する新規バイオマーカー開発	東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 (石岡千加史)	30 万円
動脈性病変患者における大型血管炎に対する新規自己抗体の検出	東北大学大学院医学系研究科 血液・免疫病学分野 (石井 智徳)	20 万円
非小細胞肺癌に対する免疫療法の治療反応性予測マーカーの確立、および進展・転移防止に関する研究	東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 呼吸器内科学分野 (杉浦 久敏)	40 万円
統合的放射線被ばく管理システム構築への基礎検討	東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門 災害放射線医学分野 (稲葉 洋平)	20 万円
合 計		170 万円

（2）学術専門委員会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面により報告

委員長 佐々木 毅 東北医科薬科大学若林病院名誉院長
 委員 角 田 行 協会理事長
 委員 八 卷 正 昭 協会医局長・附属診療所長
 委員 川 村 武 協会附属勾当台診療所長

協議（報告）事項

- ・令和2年度調査研究助成について

3. 普及広報事業（継続事業3）

（1）機関誌等の編集・制作

種 別	品 名	数 量	備 考
機 関 誌 発 行	「Smile (スマイル)」	40,000 部	28～31号 各10,000部
印 刷 物 頒 布	健康教育冊子 パンフレット	2,300 部 14,000 枚	How To 骨育 他 2種 あなたの肝臓を守るために 他 3種

4. 研修・フォーラム等事業（継続事業4）

「令和2年度予防医学事業推進会議」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

5. 中央団体主催の各種研修会及び会議への参加

○第59回日本消化器がん検診学会総会（WEB開催） 9月30日～10月 1日

出席者：附属勾当台診療所医長 菅田英明

○日本消化器がん検診学会主催2020年度第1回医師研修会（WEB開催） 10月1日～12日

出席者：附属勾当台診療所医長 菅田英明

6. 精度管理の強化

（1）精度管理調査

- 日本医師会臨床検査精度管理調査
- 全国労働衛生団体連合会精度管理調査
- 日本総合健診医学会精度管理調査
- 予防医学事業中央会精度管理調査
- 宮城県臨床衛生検査技師会精度管理調査

（2）精度向上委員会（委員長 中井祐之 たんぼぼクリニック院長）

〈循環器検診精度向上委員会〉

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため委員会中止

循環器検診精度向上委員会 委員

- 橋 口 良 一 仙塩総合病院院長
- 小野木 宏 協会副理事長
- 八 卷 正 昭 協会医局長・附属診療所長
- 千 釜 尚 朗 協会附属診療所医長

〈消化器検診読影委員会〉

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面により報告

消化器検診読影委員会 委員

大原 秀一	東北労災病院院長代行・消化器内科部長・消化器内視鏡センター長
阿部 慎哉	阿部内視鏡内科院長
今村 茂	泉内科消化器科院長
三島 利之	上杉胃腸科内科クリニック院長
八巻 正昭	協会医局長・附属診療所長
川村 武	協会附属勾当台診療所長
菅田 英明	協会附属勾当台診療所医長

協議（報告）事項

・令和元年度 胃X線検診の実態報告

〈胸部検診読影委員会〉

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため委員会中止

胸部検診読影委員会 委員

中井 祐之	たんぽぽクリニック名誉院長
松原 信行	たんぽぽクリニック医師
八巻 正昭	協会医局長・附属診療所長
千釜 尚朗	協会附属診療所医長
村上 博	協会附属診療所医長
松田 浩和	協会附属診療所医長
佐藤 芳郎	協会附属診療所医長
月館 久勝	協会附属勾当台診療所医長
杉本 富美子	協会附属勾当台診療所医長

V. 健診事業

< 集団健診・施設健診の展開 >

区分	主な項目	令和2年度実績 (件・人)	令和元年度実績 (件・人)	対前年比(%)
学校健診	心臓病検診	57,916	64,833	89.3
	血液検査(貧血・脂質)	37,593	53,613	70.1
	尿検査	208,378	216,721	96.2
住民健診	特定健診等	43,068	49,598	86.8
	腹部超音波検査	2,142	3,806	56.3
	大腸がん検査	4,553	10,550	43.2
職域健診	一般定期健康診断	84,066	83,822	100.3
	(うち 協会けんぽ生活習慣病予防健診)	16,217	16,121	100.6
	巡回式人間ドック	283	283	100.0
	特殊検診	18,021	17,808	101.2
施設健診	一日人間ドック(一般)	4,367	4,841	90.2
	一日人間ドック(協会けんぽ関連)	4,187	4,518	92.7
	一般生活習慣病予防健診	2,941	3,320	88.6
	協会けんぽ生活習慣病予防健診	8,802	9,196	95.7
	定期健康診断	13,720	13,766	99.7
	婦人科検診(乳がん)	6,724	7,362	91.3
	婦人科検診(子宮がん)	5,255	5,700	92.2
	脳健診	3,920	4,294	91.3